

2025年5月 全国百貨店売上高概況

2025年6月24日

I. 概況

1. 売上高総額	4,356億円余
2. 前年同月比（増減率）	
（1）全 国	－7.0%（店舗数調整後／4か月連続マイナス）
①10都市（10地区）	－8.4%（4か月連続マイナス）
②10都市以外（7地区）	－1.6%（店舗数調整後／8か月連続マイナス）
（2）国 内	－0.8%（店舗数調整後／4か月連続マイナス）
（3）インバウンド（免税売上）	－40.8%（店舗数調整後／3か月連続マイナス）※

※インバウンド（免税売上）は、別紙「免税売上高・来店動向」参照

【特徴】

5月は売上高（7.0%減）、入店客数（0.4%減）共に前年を下回った。前年、単月の過去最高を記録した免税売上（2024年5月：718億円）の反動の他、継続する円高傾向による免税売上減が影響した。物産展等の食品催事や外商顧客向け催事は奏功。

インバウンド（免税売上）：売上高425億円（40.8%減/シェア9.8%/3か月連続）、購買客数53.6万人（5.4%減/38か月ぶり）共にマイナス。労働節休暇（5/1～5）で中国の購買客数増も、売上は前年高伸反動により減少。高額商材の購買減少により客単価減。化粧品、食料品は堅調。

国内市場：0.8%減（シェア90.2%/4か月連続）と僅かに前年に届かなかったが、減少率は前月より0.2ポイント改善。7地区（札幌、仙台、名古屋、大阪、神戸、東北、近畿）でプラス。

都市（10都市）：仙台を除く9地区でマイナス。前年免税売上増の京都、福岡、大阪は二桁減。免税不調で身のまわり品は二桁減。地方との伸長率の差は先月より3.8ポイント拡大。

地方（10都市以外の7地区）：東北、近畿を除く5地区でマイナス。雑貨、食料品プラス。

商品別：主要5品目のうち、食料品のみ前年超え。衣料品は夏物衣料が稼働せず苦戦。ラグジュアリーブランドのバッグ、靴、時計、宝飾品等の高額商材も不調だが、宝飾品では一部価格改定前の駆け込み需要あり。先月に続きアクセサリーはブライダルニーズもあり好調。化粧品（0.7%増）は、国内外共に好調で、一部価格改定前の駆け込み需要も見られた。食料品は価格高騰影響を受け生鮮食品はマイナスが続くが、手土産、行楽、母の日需要等を背景に、菓子は2か月連続増、惣菜は11か月ぶりにプラス転換し、食料品全体でも2か月連続プラス。

【要因・その他】

（1）天 候：気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇気温は、北日本中心に暖かい空気が流れ込みやすかったため、北日本で高かった。降水量は、中旬から下旬に九州南部から本州南岸に停滞した梅雨前線の影響を受けた東日本太平洋側ではかなり多く、西日本日本海側と西日本太平洋側では多かった。日照時間は、東日本太平洋側ではかなり少なく、西日本太平洋側では少なかった。

（2）営業日数増減 30.9日（前年同月比 ±0.0日）

（3）土・日・祝日の合計 11日（ ” 土曜1日増）

（4）入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数102店舗）

①増加した：38店、②変化なし：30店、③減少した：34店

（5）調査対象百貨店 70社 178店（本年4月対比：±0店）（前年同月比：－1社＋1店）

（6）総店舗面積 4,482,537㎡（前年同月比：－2.8%）

全国百貨店 売上高速報 2025年5月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	435,677,161	100.0	-7.0 (-7.2)
10都市	338,810,500	77.8	-8.4
札幌	11,960,046	2.7	-1.8
仙台	5,602,385	1.3	2.6
東京	128,549,264	29.5	-9.1
横浜	26,696,448	6.1	-5.0
名古屋	32,393,731	7.4	-2.3
京都	19,470,611	4.5	-15.3
大阪	77,429,553	17.8	-10.4
神戸	11,964,807	2.7	-4.0
広島	5,953,142	1.4	-6.8
福岡	18,790,513	4.3	-11.9
10都市以外の地区	96,866,661	22.2	-1.6 (-2.6)
東北	3,903,890	0.9	2.7
関東	44,422,993	10.2	-2.3
中部	5,711,989	1.3	-1.2 (-15.8)
近畿	15,039,480	3.5	1.1
中国	6,966,632	1.6	-3.9
四国	4,950,058	1.1	-2.1
九州	15,871,619	3.6	-1.9

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	435,677,161	100.0	-7.0 (-7.2)
紳士服・洋品	23,584,260	5.4	-6.5 (-6.7)
婦人服・洋品	82,293,058	18.9	-8.0 (-8.2)
子供服・洋品	7,222,275	1.7	-3.2 (-3.4)
その他衣料品	6,392,560	1.5	0.9 (0.7)
衣 料 品	119,492,153	27.4	-7.0 (-7.2)
身のまわり品	73,987,709	17.0	-21.1 (-21.2)
化粧品	40,352,301	9.3	0.7 (0.5)
美術・宝飾・貴金属	49,063,768	11.3	-5.2 (-5.4)
その他雑貨	12,396,118	2.8	0.6 (0.4)
雑 貨	101,812,187	23.4	-2.3 (-2.4)
家 具	3,623,144	0.8	-1.8 (-2.0)
家 電	1,791,589	0.4	3.4 (3.1)
その他家庭用品	9,534,008	2.2	-1.4 (-2.3)
家 庭 用 品	14,948,741	3.4	-1.0 (-1.6)
生 鮮 食 品	16,438,118	3.8	-1.9 (-2.2)
菓 子	31,014,897	7.1	3.3 (3.0)
惣 菜	25,272,963	5.8	0.6 (0.4)
その他食料品	28,629,062	6.6	0.6 (0.3)
食 料 品	101,355,040	23.3	1.0 (0.7)
食 堂 喫 茶	10,393,316	2.4	-1.7 (-1.9)
サ ー ビ ス	4,563,931	1.0	15.5 (15.4)
そ の 他	9,124,084	2.1	-23.1 (-23.1)
商 品 券	4,992,007	1.1	-12.0 (-12.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

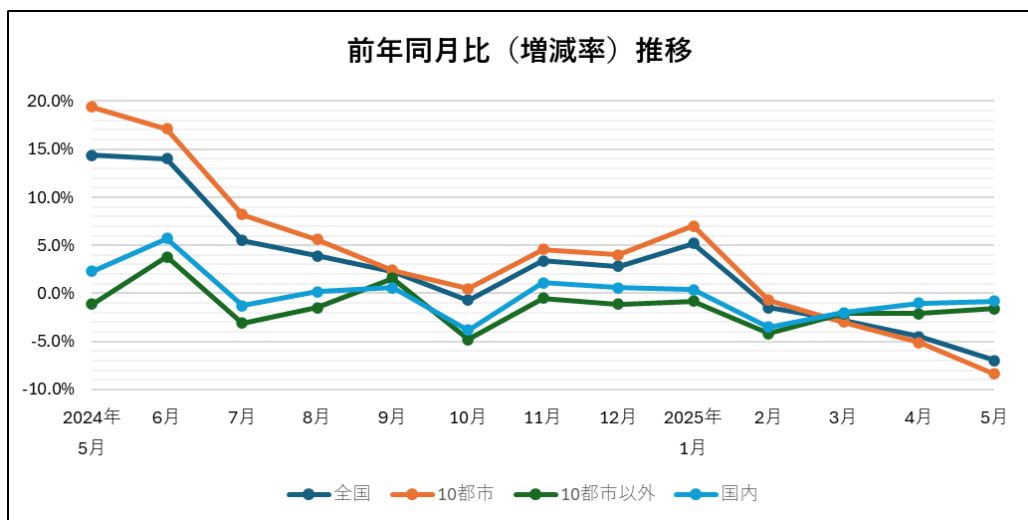
地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	-8.4	-6.6	4か月連続マイナス
札幌	-1.8	-0.0	2か月連続マイナス
仙台	2.6	0.0	6か月ぶりプラス
東京	-9.1	-2.8	4か月連続マイナス
横浜	-5.0	-0.3	4か月連続マイナス
名古屋	-2.3	-0.2	7か月ぶりマイナス
京都	-15.3	-0.7	4か月連続マイナス
大阪	-10.4	-1.9	3か月連続マイナス
神戸	-4.0	-0.1	39か月ぶりマイナス
広島	-6.8	-0.1	21か月連続マイナス
福岡	-11.9	-0.5	4か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.6	-0.3	8か月連続マイナス
東北	2.7	0.0	2か月ぶりプラス*
関東	-2.3	-0.2	8か月連続マイナス
中部	-1.2	-0.0	4か月連続マイナス
近畿	1.1	0.0	2か月ぶりプラス
中国	-3.9	-0.1	11か月連続マイナス*
四国	-2.1	-0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-1.9	-0.1	8か月連続マイナス

(注1) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

(注2) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算した。

【前年同月比(増減率)推移】

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月
全 国	14.4	14.0	5.5	3.9	2.3	-0.7	3.4	2.8	5.2	-1.5	-2.8	-4.5	-7.0
10 都 市	19.4	17.1	8.2	5.6	2.4	0.5	4.6	4.0	7.0	-0.7	-3.0	-5.1	-8.4
10 都市 以外	-1.1	3.8	-3.1	-1.5	1.6	-4.8	-0.5	-1.1	-0.8	-4.2	-2.1	-2.1	-1.6
国 内	2.3	5.7	-1.3	0.2	0.6	-3.8	1.1	0.6	0.4	-3.5	-2.0	-1.0	-0.8



Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目がマイナスとなった。
その他の品目は化粧品が39か月連続でプラスとなったほか、菓子が2か月連続、惣菜が11か月ぶりにプラスとなったが、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、生鮮食品が14か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	-7.0	—	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-6.5	-0.3	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-8.0	-1.5	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.2	-0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	0.9	0.0	4か月ぶりプラス
衣料品	-7.0	-1.9	4か月連続マイナス
身のまわり品	-21.1	-4.2	4か月連続マイナス
化粧品	0.7	0.1	39か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.2	-0.6	4か月連続マイナス*
その他雑貨	0.6	0.0	9か月ぶりプラス*
雑貨	-2.3	-0.5	3か月連続マイナス
家具	-1.8	-0.0	2か月連続マイナス
家電	3.4	0.0	6か月連続プラス
その他家庭用品	-1.4	-0.0	2か月連続マイナス
家庭用品	-1.0	-0.0	2か月連続マイナス
生鮮食品	-1.9	-0.1	14か月連続マイナス*
菓子	3.3	0.2	2か月連続プラス*
惣菜	0.6	0.0	11か月ぶりプラス*
その他食料品	0.6	0.0	2か月連続プラス*
食料品	1.0	0.2	2か月連続プラス
食堂喫茶	-1.7	-0.0	11か月連続マイナス
サービス	15.5	0.1	2か月ぶりプラス
その他	-23.1	-0.6	6か月ぶりマイナス
商品券	-12.0	-0.1	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>